

2008年3月27日

各位

味の素株式会社
大日本住友製薬株式会社

ニフレック®とガスモチン®の併用による バリウム注腸 X 線造影検査前処置法に関する効能追加申請について

味の素株式会社(本社:東京都、社長:山口範雄、以下「味の素」)と大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、社長:宮武健次郎、以下「大日本住友製薬」)は、本日、ニフレック®とガスモチン®の併用によるバリウム注腸 X 線造影検査前処置法に関する効能追加申請を行いました。

ニフレック®は、味の素が 1992 年に発売した経口腸管洗浄剤であり、腸管内洗浄効果に優れ、また、検査前日までの食事制限等が不要なことから、大腸内視鏡検査及び大腸手術の前処置に広く用いられています。

ガスモチン®(一般名:クエン酸モサプリド)は大日本住友製薬が創製し 1998 年に発売した「慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ、悪心・嘔吐)」を適応症とする消化管運動機能改善剤です。上部消化管(胃)及び下部消化管(大腸)の運動を促進する作用を有しています。

バリウム注腸 X 線造影検査は、大腸の中をきれいにした後、肛門より造影剤(バリウム)を注入して X 線で腸の中を撮影します。大腸の中をきれいにし、検査をしやすくすることを、検査の「前処置」といいます。現在、バリウム注腸 X 線造影検査前処置法の大半(90%以上)はブラウン変法(1~2 日の食事制限を行い、複数の下剤を服用する方法)で行われており、患者様の負担が大きいことが問題となっています。

ニフレック®単独の前処置では腸管内にニフレック®の溶解液が残留するため、バリウム注腸 X 線造影検査には不向きでしたが、ガスモチン®をニフレック®に併用すると、腸管内に残ったニフレック®の溶解液が減少し、良好なバリウム注腸 X 線像が得られることが分かりました。また、検査当日のみで前処置が完了するため、食事制限や複数の下剤の服用などの煩わしさから開放されます。

味の素ならびに大日本住友製薬では、今回の効能追加が承認されることにより、医療提供側の検査環境の向上と患者様の大腸疾患の早期発見に貢献できることを期待しています。

以上

本件に対するお問い合わせ先	
味の素株式会社 医薬人事・リスク管理部 (広報担当) 03-6280-9500	大日本住友製薬株式会社 広報部 06-6203-1407